

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
37204	老化、認知症、障害の理解 Understanding Ageing, Dementia,	小木曾 恵里子	✓	専門	2	選択	1・2年前期

科目の概要

世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えた日本では、介護ニーズはますます高まっている。社会全体で支える仕組みとして介護保険という仕組みが作られた。介護保険の利用者に対してより良い支援を提供することができるよう、介護の知識・技術だけでなく、利用者との接し方や介護・福祉の考え方なども学ぶことが求められている。利用者が持つ老化や認知症、障害といった側面を理解し修得する。★医療現場、介護現場での経験をもとに、老化や認知症、障害の知識の理解を深め、利用者へ尊厳を持って寄り添う支援につなげていく。

学修内容	到達目標
①人のライフサイクルを知り、老化による心身の変化を理解する。 ②老化による生活やその人の望む寄り添える支援について理解する。 ③認知症を理解し、尊厳をもった支援の必要性を理解する。	①老化による心身の変化について基本的な考え方や知識を持つ。 ②老化による生活やその人の望む生活を支援するために必要なことがわかる。 ③利用者の尊厳を守り、その人らしい暮らしを支えることがイメージできる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	教科書・文献を用いて自己学修をすることができる。 グループワークなどで役割を楽しんで参加できる。
	働きかけ力	グループワークなどで人の力を借りるための声かけができる。
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	相手や状況を見て感じ、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に達成できるよう進めることができる。
	創造力	新しい発想を持ち、答えは一つではないと考えて物事に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークで自分の考えを発表できる。
	傾聴力	グループワークで人の意見をしっかり聞き、言葉だけでなく表情やしぐさから相手の思いを汲みとることができる。
	柔軟性	グループワークで自分と異なる意見や価値観に対して柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	その場の状況を察知して、自分の役割を把握し、良い結果が出せるよう取り組むことができる。
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	上手くいかなかった時でも長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：介護職員初任者研修テキスト（第2版・第2刷）1～3巻 長寿社会開発センター（6477円）

参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし

資格との関連：介護職員初任者研修

学修上の助言	受講生とのルール
受け身の講義だけでなく、授業中にコミュニケーションを図り、その中から体感していただく機会を設けます。教科書からだけでなく、気づきから得られるものも含めて本科目の学びとします。	講義中にグループワークをはさみます。積極的な参加により、お互いに気づき、学び、深めていきたいと思っております。授業で配布する資料の予備は保管しません。他出席者に依頼して各自の物をキープしてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験	50	①	✓	高齢者・認知症者・障害者に対する対人援助業務に従事する専門職が共通して持つ基本的な考え方や知識、必要な支援についての理解度を確認し評価する。		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		40		①	✓	振り返りシートの提出(1点×15回=15点) 小課題を複数回出題する。実施時期は授業中に指示する。
						②	✓	
						③	✓	
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・講義への参加態度やグループワークへの関わり方から各社会人基礎力を評価する。 ・遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の未提出、グループワークへの非協力などが見られる場合は減点する。 (主体性) 教科書・文献を用いて自己学修をしている。 (働きかけ力) グループワークなどで人の力を借りるための声かけをしている。 (実行力) 困難があっても目標を変更せず到達しようと努めている。 (課題発見力) 相手や状況を見て感じ、課題を見極めることができる。 (計画力) グループ内で時間内に終えることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に達成できるよう進めることができる。 (創造力) 新しい発想を持ち、答えは一つではないと考えて物事に取り組むことができる。 (発信力) グループワークで自分の考えを発表する。 (傾聴力) グループワークで人の意見をしっかりと聞き、言葉だけでなく表情やしぐさから相手の思いを汲みとることをしている。 (柔軟性) グループワークで自分と異なる意見や価値観に対して柔軟に受け入れることができる。 (状況把握力) その場の状況を察知して、自分の役割を把握し、良い結果が出せるよう取り組むことができる。 (規律性) 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 (ストレスコントロール力) 上手くいかなかった時でも長く引きずることなく次へ進むことができる。 		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
				総合評価 割合			100	

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、イメージした生活場面を生徒自身の言葉で説明できる。 (S) 講義中のグループワークの進行で、その場の役割を果たし、チームの課題達成に貢献できる。 (S) 高齢者・認知症者・障害者の特性を理解し、必要な支援について列挙できる。 (A) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、その生活をイメージしテキスト等を用いて説明できる。 (A) 講義中のグループワークの進行で積極的に参加し、課題達成に協力できる。 (A) 高齢者・認知症者・障害者の特性を理解でき、必要な支援についていくつか説明できる。	(B) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し説明できる。 (B) 講義中のグループワークの進行で、積極的に参加できる。 (B) 高齢者・認知症者・障害者の特性を知り、必要な支援について説明できる。 (c) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、テキスト等を用いて説明できる。 (C) 講義中のグループワークを協力しながら進行できる。 (C) 高齢者・認知症者・障害者の特性や必要な支援についてテキスト等を用いて説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	老化の理解【1】 老化と身体的変化	講義	加齢・老化に伴う身体的・生理的な特徴について概説できる。	(予習) P125～132を読んで、加齢・老化に伴って変化する点を見つけておく。 (復習) 老化と身体的変化の特徴についてまとめる	180	発信力 課題発見力
2週 /	老化の理解【2】 老化と心理的变化	講義 振り返りシートのフィードバック	加齢・老化に伴う心理的特徴について概説できる。	(予習) P100～124を読んで、加齢・老化に伴って変化する心理的特徴についてまとめる。 (復習) 心身の変化についてまとめる	180	発信力 課題発見力
3週 /	老化の理解【3】 高齢者の健康とは	講義・演習 振り返りシートのフィードバック	加齢・老化による身体的精神的变化を概説できる。	(予習) 講義1・2で学んだことの振り返り (復習) 演習で学んだことをまとめる	180	発信力 実行力 傾聴力 柔軟性 規律性 主体性
4週 /	老化の理解【4】 高齢者に多い疾患①	講義 振り返りシートのフィードバック	身体的・精神的機能の変化による日常生活への影響について概説できる。	(予習) P134～161を読んで、精神的・肉体的変化に伴う症状をまとめる。 (復習) 日常生活への影響についてまとめる。	180	発信力 課題発見力
5週 /	老化の理解【5】 高齢者に多い疾患②	講義 振り返りシートのフィードバック	高齢者に多い病気を複数概説できる。	(予習) P 161～194を読んで、高齢者に多い病気をまとめておく。 (復習) 病気の症状についてまとめる。	180	発信力 課題発見力
6週 /	老化の理解【6】 高齢者に多い疾患③	講義 振り返りシートのフィードバック	介護保険の特定疾病を概説できる。	(予習) P ～206を読んで、高齢者に多い病気をまとめておく (復習) 介護保険の特定疾患についてまとめる	180	発信力 課題発見力 規律性 働きかけ力
7週 /	認知症の理解【1】 認知症ケアの理念	講義 振り返りシートのフィードバック	認知症ケアの理念について概説できる。	(予習) P210～224を読んで、認知症の原因疾患についてまとめる。 (復習) パーソン・センタード・ケアについてまとめる。	180	発信力 課題発見力
8週 /	認知症の理解【2】 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活①	講義 振り返りシートのフィードバック	認知症の概念について概説できる。	(予習) P226～252を読んで、薬物療法についてまとめておく。 (復習) 認知症ケアにおける健康管理についてまとめる。	180	発信力 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	認知症の理解【3】 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活②	講義 振り返りシートのフィードバック	BPSDについて概説できる	(予習) P254～272を読んでBPSDについてまとめておく。 (復習) BPSDの対応についてまとめる。	180	発信力 課題発見力
10週 /	認知症の理解【4】 家族への支援	講義 振り返りシートのフィードバック	認知症当事者や家族の思いについて概説できる。	(予習) P273～332を読んで日常生活支援の基本的対応についてまとめる。 (復習) 日常生活支援における配慮についてまとめる。	180	発信力 課題発見力 創造力 規律性
11週 /	認知症の理解【5】 演習を通して振り返る	講義・演習 振り返りシートのフィードバック	認知症ケアの理念やケアの考え方について概説できる。	(予習) 認知症の理解1～4を通して振り返る。 (復習) 演習で学んだことをまとめる。	180	発信力 実行力 傾聴力 規律性 働きかけ力 主体性
12週 /	障害の理解【1】 障害の基礎的理解	講義 振り返りシートのフィードバック	障害の概念とICF、障害者福祉の理念について概説できる。	(予習) P336～347を読んで、障害者福祉の概念についてまとめる。 (復習) 障害者福祉の理念をまとめる。	180	発信力 課題発見力
13週 /	障害の理解【2】 身体障害・知的障害	講義 振り返りシートのフィードバック	身体障害、知的障害について概説できる。	(予習) P350～390を読んで、身体障害、知的障害についてまとめる。 (復習) 身体障害・知的障害への基本的な介護の考え方についてまとめる。	180	発信力 課題発見力 規律性
14週 /	障害の理解【3】 精神障害・強度行動障害・難病	講義 振り返りシートのフィードバック	精神障害、強度行動障害、難病について概説できる。	(予習) P391～430を読んで、精神障害についてまとめる。 (復習) 難病についてまとめる	180	発信力 課題発見力 規律性
15週 /	老化、認知症、障害の理解 当事者・家族の心理や受容と対人援助職としての役割	講義・演習 振り返りシートのフィードバック	家族の心理や受容について概説できる。	(予習) P432～444を読んで、受容についてまとめる。 (復習) 演習で学んだことをまとめる。	180	発信力 働きかけ力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力